

ICTを活用した 診療室－講義室 同時中継講義の実施 2008.11.11 歯学部 歯学科 4年 講義・診療担当：歯学部長 田上 順次 教授

平成19年度現代GP採択組の一環として、平成20年11月11日に歯学部歯学科4年生対象の「う蝕と歯髄疾患モジュール：歯の硬組織疾患の治療」講義において、診療室と講義室を結んだ同時中継を実施し、無記名のアンケートにより学生から高い評価を得た。



講義室

同時中継講義における学生(60名)からの評価



同時中継講義

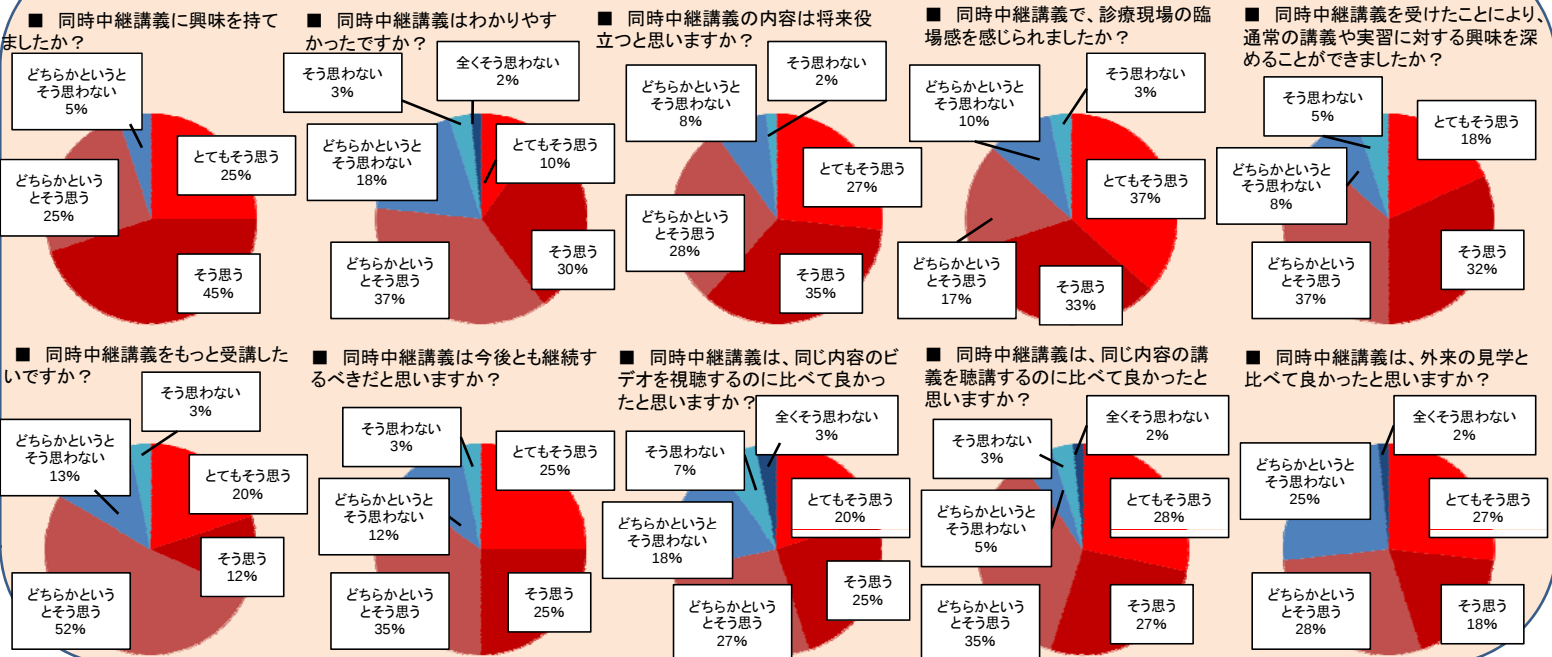


診療室

- 各質問に対し
- 「とてもそう思う」
 - 「そう思う」
 - 「どちらかというと思う」
 - 「どちらかというと思わない」
 - 「そう思わない」
 - 「全くそう思わない」

の6段階で評価した

各質問に対し



■ ビデオの視聴・講義の聴講と比較して、本同時中継講義の良かった点を具体的に挙げてください。

- ・ 講義室と診療室で会話しながら進めていくことができる
- ・ 臨場感とワクワク感がよかった
- ・ 実際の患者さん相手に診療のし方、説明、治療と全体を通して見れた点
- ・ 質問したい時に質問でき、その場で答えてもらえる点
- ・ 教室にいる先生がポイントを示してくれたのでわかりやすかった
- ・ リアルタイムで解説を受けながら治療を見ることができる
- ・ タービンについているカメラで、削る様子が間近で見られた
- ・ カメラにより先生の目線で治療を見られた
- ・ ひとりひとりが治療のアシストをする気になる
- ・ 治療中の先生の手元の作業まで見ることができる
- ・ リアルタイムなのでやる気が出る
- ・ 質問に対して自ら考えようと思えた
- ・ 授業の形式として新鮮にかんじられる
- ・ 実際の治療を見ながらであったので、治療時間の長さとかを体感できた
- ・ 実習でやった内容だったので、内容がわかりやすくて良かった
- ・ マネキンで行っている実習内容が臨床現場で行われているところが見れて実際治療を行うイメージがわいた

■ 同時中継講義について、自由に感想や意見を記入してください。

- ・ なかなか面白い授業だった。実習のデモにはない治療の臨場感があって良かった。
- ・ 先に何がおこるのかわからないという臨場感があっておもしろかった。
- ・ 実際に治療しているところをアップで見れてとてもよかった。
- ・ 田上先生の治療をリアルに見れたことはすばらしかった。見学をしてもあんなに中身まではみれないので、よい授業形態だと思う。でも、見れないとまったく意味がないので、カメラ(?)の能率アップが期待される。
- ・ 視線カメラの揺れは本当に見る方にとって負担となるので改善したほうが良いと思う。
- ・ せっかくなので、もっといろいろな症例の治療が見たかった。
- ・ 私としては、先生がタービンをどのようにあてているのか、などを見たかったので、タービンについているカメラではなく、田上先生についているカメラで治療を通して見たかった。田上先生の治療を見られるのをとても楽しみにしていたのに、映像が見つばって少し残念だった。
- ・ とても面白かったですが、カメラの見えにくさなど、残念な点も多かった様に思います。
- ・ 患者さんの意見が聞けたり、先生の目線で見ることでよかったです。
- ・ 病院見学だとあそこまで丁寧に解説してもらえることは少ないのでよい勉強になった。中継後の講義による補足があったので理解が深まった。
- ・ ただ1つの内容だけではなく治療においてどのような流れで行うのかを見ることができてよかった。
- ・ わかりにくかったところもあったけれど、臨床の見学や普段の授業に比べてとても興味をもって見ることができました。
- ・ 他の症例についても見てみたいです。
- ・ 分かりやすく、興味持てたのでもっと増やしてほしいですし、他の科でも行ってほしい。さすがだと思った。
- ・ 画期的な授業だったと思います。
- ・ とても分かり易く治療の流れを理解できた。
- ・ 講義、実習の復習になった。